



## 申15号 「現業機関における柔軟な働き方の実現について」に関する 解明申し入れ 第1回団体交渉を行う！ その③

### 4. 「新たなジョブローテーションの実施について」と、今提案との整合性を明らかにすること。

組合	会社
今提案とジョブローテーションの違いは何か。	今提案は、新しい職場ができるという枠組みを変える内容。ジョブローテーションは人の運用、異動。キャリア加算など関連するものはあるが、施策自体が違う。
ジョブローテーションの議論経過からわかるものはないか。	ジョブローテーションの議論経過は変わらない。
ライフサイクルの深度化で駅に異動している社員の取扱いで変化はあるのか。	ライフサイクルの深度化で駅輸送の担務に就いている社員については、従前の取扱いをする。
秋の自己申告書による面談の方法や様式は何か変わるのか。	様式等の変更は現段階では考えていない。随時見直しをかけてきている。

### 5. 各支社及び新幹線統括本部管内における、統括センター及び営業統括センターの配置の考え方について明らかにすること。

組合	会社
統括センター及び営業統括センターの住所は？新庁舎が建つのか？	拠点駅の住所にするのかどうかはケースバイケースになる。新庁舎が建つ可能性はゼロではないが、設備上の問題を踏まえて、間内改良等もあるだろう。
新幹線統括本部において、統括センター及び営業統括センターの新設はあるのか。	駅と乗務員区との融合の視点でいうと可能性はゼロではないが、課題があると認識している。
規模の考え方、判断基準はあるのか。	地理的な特性などがあるので、一律な基準は考えていない。各地域とのつながりなどもある。
車両職が勤務する乗務員区も統括センターに入ることはあるのか。	対象となる。
出勤箇所がその都度変わる場合、ロッカーなどどうなるのか。	細かいことは地方での議論になる。課題があることは認識している。
指揮命令系統について、駅長の配置などどうなるのか。	統括センター及び営業統括センターの現場長は一人、副長(助役)の役割分担はエリアの特状をみながら対応する。泊りの副長が駅の点呼、乗務員の点呼を行うことなど融合していく場合もある。

6項以降は日程が決まり次第、引き続き議論を行っていきます！

**現場視点で施策の本質を見抜き、組織強化・拡大を実現し、  
仕事と職場と生活を守るたたかいに決起しよう！**